

## リニア中央新幹線建設反対！経費節減のしわよせ反対！

組合員の皆さん、仲間の皆さん今年もよろしくお祈りします。

さてJR東海は昨年12月17日にリニア中央新幹線の工事を開始した。2027年の開業予定で総工費は5兆5000億円を予定している。しかし最大1400mの南アルプス山岳トンネル工事や、生み出される大量の残土、地下水の水枯れ問題など地権者との交渉は終わっていない。そして活断層やウラン鉱床を横切る可能性なども未解決のままである。また会社も国土交通省も「リニアは事業としてはペイしない。」と儲からないことを認めている。

そしてそのしわ寄せは、工事費捻出のための経費節減として、私たちや関連業者に効率化と労働強化として反映している。私たちは会社の存続すら危うくする、リニア中央新幹線建設反対の声を上げ続けよう。

## 国益より人権！敵意より協和！戦争への道にNO！を

さて昨年の衆議院選挙で安倍政権の存続が決定した。そして安倍は国民の信任を得たと、「アベノミクス」の推進による格差拡大と消費税10%、原発再稼働、集団的自衛権の法制化へと突き進んでいくだろう。

しかしマスコミが報じた「自公圧勝」の選挙結果を詳しく見ていけば、共産党+13、民主党+11、公明党+4、次世代-17、無所属-8、自民党-3、生活-3、維新-1、社民党±0となる。つまり自民の圧勝ではなく、共産・民主・公明が評価されている。

しかも投票率が戦後最低の52.66%であったにもかかわらず、自民党は議席を減らした。比例区での自民党の得票率は33.1%で、昨年参院選の34.7%を下まわり、有権者は安倍自民党に委任状を渡してはいない。そして9条改憲に賛成する自民・次世代は-22であり、民主・公明・維新・共産・社民など慎重・反対は+24である。また原発再稼働推進の自民・公明・次世代は-18であり、原発再稼働に慎重・反対の野党は+20となっている。

しかし最大の問題は「有権者の二人に一人しか投票しなかった」ことにある。安倍はあえて「選挙に行きたくない時期」を選んで仕組んだ。そして国民の半分は、それに乗せられた。

私たちは、ファシズムが台頭してくる時代に生きていることを自覚しなければならない。

「ファシズムの主体は権力者ではなく国民。国民が考えるのをやめ、感じるのをやめた時、ファシズムが進行する。今は戦前のあの恐ろしい時代の一步手前にいる」（京大名誉教授・池田浩士）

「安倍政権の性格が分かりきっているのに、惰性で自民に投票した。焼夷弾が降ってきてはじめて、戦勝の報に浮かれたことを悔やんだかつての日本人と変わらない」（文化学園大教授・白井聡助）。街頭でのヘイトスピーチ、「嫌韓・嫌中」や「日本人」を礼賛する本やテレビ番組の増加。そして、安倍とその仲間たちこそ『従軍慰安婦』『南京大逆殺』など戦前の日本軍による蛮行はなかった」と歴史を修正し、戦前の日本回帰をめざし、マスコミをも操作して世論づくりをやっている。「自国礼賛・他民族への敵意や煽動、人権や人道よりも国家体制を優先する思想は戦争への入り口にある」ことを歴史から学ぶことができる。そして私たちは、まだ声を出せる。